

研修展示館に新しい展示が加われました！

① ショクダイオオコンニャクの実物大模型

世界最大級のく花>（正確には花序）。当園では過去5回の開花に成功していますが、その中で最も大きく咲いた花序（272 cm、2014年7月3日）を、実物大模型で再現しました。数年に数日しか見られないその勇姿を、常設展示で見られるようになりました。

② ミジンコウキクサの巨大模型

世界最小の花を咲かせる世界最小の種子植物。肉眼で見えるか見えないか程度の小さな水草の形態を500倍の巨大模型で再現しました。対面に置かれたショクダイオオコンニャクとは同じサトイモの仲間。その両極端の形に注目です。

③ 生物多様性プロジェクションマッピング

標本から得られた情報を立体的な日本地図とプロジェクションマッピングで投影した生物多様性地図です。日本の生物多様性を理解する上で重要な地域などが、カラフルなイルミネーションで浮かび上がってきます。



①



②

③



①②は、国立科学博物館上野本館で開催された特別展「植物～地球を支える仲間たち」（2021. 7. 10～9. 20）で、③は、国立科学博物館上野本館の企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」(2021. 12. 14～2022. 2. 27)で展示された後、当園に收藏されました。

これらの展示は、5月24日（火）から常設展示としてご覧いただけます。なお、企画展実施のため、6月21日（火）から11月11日（金）ごろまでは、展示を休止いたします。